

備前市 事務事業 評価表

事務事業名	地区公民館管理事業(日生)	コード	03-02-04-04	
		担当課・係	日生地域公民館	
事業実施期間	H18.4.1~H19.3.31		担当者	大西 太平
	大項目(基本目標)	地域文化と人が輝くまちづくり	電話	0869-72-1006
	中項目(基本施策)	生きがいあるまちづくり		
総合計画事業(政策)体系	小項目(施策)	公民館		

事業について	
目的(何のために)	住民の良好な生活環境と心豊かな地域建設を図り、住民の文化及び教養の向上発展のための場と機会を提供し、生活文化の振興に資すること。
対象(誰・何を対象に)	備前市民及び市外の施設利用希望者
内容	貸館業務、各種団体等の集会、住民の集会・その他公共的な催しもの利用や自主的文化活動

事業の結果			
実施項目	17年度 回数など(単位)	18年度 回数など(単位)	回数など(単位)
年間貸館回数	1,919 回	1,663 回	
貸館利用者数	29,310 人	30,567 人	
地区公民館	3 館	3 館	

事業費(単位:千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	7,672	間接補助金等		直接事業費	5,889	間接補助金等	
	人件費	4,570	受益者負担		人件費	4,600	受益者負担	204
			市債				市債	
	合計	12,242	一般財源等	12,242	合計	10,489	一般財源等	10,285
								0

結果指標	結果指標名	貸館回数	貸館回数	
	結果指標量	1,919	1,663	
	単位	回	回	
	対前年比	-	86.66%	0.00%
結果指標	活動にかかるコスト	12,242,000 円	5,893,769 円	
	単位当たりコスト	6,379 円	3,544 円	
	結果指標名	貸館利用者数	貸館利用者数	
	結果指標量	29,310	30,567	
	単位	人	人	
	対前年比	-	104.29%	0.00%
	活動にかかるコスト	12,242,000 円	5,893,769 円	
	単位当たりコスト	417 円	192 円	

事業の成果				
どのような成果を得ようとしているか	住民の文化及び教養の向上のための場と機会を提供し、住民の自主的な文化活動の発展及び住民の個々の生涯学習の振興に寄与すること。			
成果指標名	貸館利用者数	式又は説明	公民館年間貸館利用者数	
	17年度		18年度	
成果指標量	29,310		30,567	
対前年比	-		104.29%	0.00%
到達目標値	33,000	到達目標年度	平成23年度	

事業の目的、対象、内容を考えているが、目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成18年度事業)
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input type="checkbox"/> 関係法令等: 社会教育法第20条
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である
	市民ニーズの妥当性	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input checked="" type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である
効率性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である
	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である
	手段の最適化	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input checked="" type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている
有効性の評価	職場の効率化	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい
	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している
	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある
市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

平成19年度の状況		説明		
<input type="checkbox"/> 重点化している	<input type="checkbox"/> 休止している			
<input type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合している			
<input checked="" type="checkbox"/> 見直し継続している	<input type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了	高齢者の人口割合の増加に伴い、若い世代の利用者の割合が少なく高齢者の利用者が多くなっている傾向にあり、若い世代の方にもっと文化活動に参加していただきたいが、若者向けの文化活動グループが少ないため若い世代の文化活動参加者が少ないように思われる。		
目標値	結果指標量	2,000回	結果指標量	33,000人
	成果指標量	33,000人		

総合評価	昨年に比べて貸し館回数は減少しているが、貸館利用者数は増加している。これは文化協会への新規加入団体・脱退団体等があったことなどから貸し館回数の減少・利用者数増加となった。また、施設面では、地区住民のニーズに沿った自主的な文化活動及び学習の場としての利用申し込みについては、ほぼ希望どおりの活動の場を提供できた。	評価区分 <A~E> C
------	---	---------------------------

平成20年度以降の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する	<input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了
--------------	---	---	---------------------------------------

平成20年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
妥当性	住民の学習意欲を高めるような情報提供を随時行う。	平成20年度	学習意欲が湧くような情報提供を受けることによって利用の増加が見込める。
効率性	利用者の施設利用終了後ごとに照明等の節電チェックをする。	平成20年度	電気代等の節約
有効性	若い世代の方に文化活動に参加して戴けるような情報提供の推進	平成20年度	若い世代の方の文化活動が盛んになるにつれて心豊かな地域発展が見込める。